

自己評価結果報告書

施設名	里親センターなら
評価実施日	令和8年 3月24日(火)
評価対象期間	令和7年度(令和7年 4月 1日～令和8年 3月31日)

種別	里親支援センター
施設長名	阪口 千晴
対象地区の里親数	148世帯(奈良市を除く) 奈良市…43世帯 ※令和7年4月1日現在
所在地(対象地区)	奈良県(奈良市を除く) ※奈良市は委託事業として実施
住所	奈良県天理市別所町715番地3
電話番号	0743-85-5567
FAX	0743-68-1721
ホームページURL	https://satooya-nara.com/
開設年月日	令和6年4月1日
経営法人・設置主体	社会福祉法人 天理
職員数	常勤職員：7名 常勤的非常勤職員：1名
職員種別	里親支援センターの長：1名 里親等支援員：4名(内3名は加算) 里親リクルーター：1名 里親トレーナー：1名 市町村連携コーディネーター：1名
有資格者数	社会福祉士：3名 教員免許：1名 保育士：2名 公認心理師：1名 精神保健福祉士：2名 ※重複有り
施設設備の概要	専有スペース：事務室1 相談室1 共有スペース：研修室1 地域交流室1 談話室1 講堂1 駐車場 トイレ各1 ユニバーサルトイレ1 プレイルーム2
理念・基本方針	社会福祉法人天理は明治43年4月1日児童養護施設 天理養徳院 開設に当たり天理教初代真柱中山真之亮様が詠まれた「人の子も我子もおなしこゝろもて おふしたてゝよ このみちの人」を運営の基本理念としている。又、活動目標としては「朝起き、正直、働き」を掲げ、その実践に取り組みを行っている。 里親センターならは、天理教の教え、並びに社会福祉法人天理の基本理念に基づき、里親支援事業を包括的に実施し、家庭養育の推進を行い、児童の養育環境の向上を図る。
第三者評価の受審状況	未実施 ※令和8年度受審予定

		評価結果	
		評価の判定	評価の根拠
Ⅰ 里親支援センターの運営・体制			
1 リーダーシップ及び関わり			
里親支援センターの長は、リーダーシップを發揮し、責任を持って業務にかかわっているか		B	<ul style="list-style-type: none"> ・センター内の体制表を整理し、センター長の業務を明記している。 ・職員朝礼や会議等で、里親支援において大切にすべき点をセンター長より伝えている。 ・一方で、その内容を一般化する作業が進んでおらず、課題の明確化、具体的な目標設定については、不十分である。課題や目標、法令理解に資することのできる、OJTの実施が求められる。
<input checked="" type="checkbox"/> 里親支援センターの長の責任を明確にしている			
<input checked="" type="checkbox"/> 里親支援センターの長は、遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている			
<input checked="" type="checkbox"/> 里親支援センターの長は、リーダーシップを發揮して、責任を持って業務に関わっている			
2 人材の確保・育成			
人材の確保と育成に関する計画を立て、実行しているか		B	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士、教員免許、保育士、公認心理師など、有資格の人材を配置することができている。 ・社会福祉法人天理の人事考課課程に基づき、職員の評価基準が設定されている。 ・一方で、職員育成の点では、不十分である。センター内の業務を整理し、常に2年後3年後を見据えて、大学等へ職員募集の働きかけをするとともに、スーパービジョンの実施や、新任職員が数年後の自分を見通せる、キャリアパスの形成が望まれる。
<input type="checkbox"/> 必要な人材の採用と育成が行われている			
<input checked="" type="checkbox"/> 里親支援センターの業務の質の向上、効率化のための取組を実施している			
<input checked="" type="checkbox"/> 職員に必要な専門性を確保するための取組を行っている			
3 職場環境			
職員が働きやすい環境づくりに取組んでいるか		B	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回程度、センター長による職員面談を実施し、職員の意向や意見の把握に努めている。 ・基本的には定時退勤が可能であり、年次休暇の取得も職員に促しており、また、職員の希望に合わせて取得できるようつとめている。 ・一方で、一部業務過多になっている職員もいるため、職員の補充を行いつつ、職員のやりがい向上のための工夫が必要である。
<input checked="" type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向・意見を把握している			
<input type="checkbox"/> 働きやすい環境にするための取組を行っている			
<input checked="" type="checkbox"/> 年次休暇の取得状況や労働時間が適正である			
4 情報管理			
個人情報の取扱いが適切に行われているか		B	

<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の保護・管理が適切に実施されている		<ul style="list-style-type: none"> ・里親や委託児童等、個人に関する情報は、鍵のかかる書庫に保管し、データの持ち出しも禁止している。 ・個人情報管理の責任者はセンター長となっている。 ・一方で、個人情報保護に特化したセンター内での研修は不十分である。
<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報管理の責任者が明確である		
<input type="checkbox"/> 個人情報保護に関する研修が里親支援センター内で実施されている		
5 法令遵守		
里親支援センター及びその職員は法令等を理解し、遵守しているか		
<input checked="" type="checkbox"/> 里親支援センター及びその職員は遵守すべき法令等を理解している	A	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに、里親支援センター及びその職員が遵守すべき法令等について説明を行っており、職員も遵守している。 ・また、これに付随して、守秘義務を課している。
<input checked="" type="checkbox"/> 里親支援センター及びその職員は法令等を遵守している		
<input checked="" type="checkbox"/> 里親支援センター及びその職員又は職員であった者に対し、守秘義務を課している		
II 里親支援センターにおける児童相談所との連携		
6 児童相談所と連携した支援の連続性		
一貫した体制の下に里親支援センターの業務が包括的に実施されており、児童相談所と連携してこどもや里親等への支援について連続性をもって提供されているか		
<input checked="" type="checkbox"/> 一貫した体制の下に里親支援センターの業務が包括的に実施されている	A	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに関わる全てのケースについて、児童相談所とのケース共有を実施し、また、新規ケースがある毎に、書面の提供を含み、児童相談所からのケース説明を受けている。 ・事業計画には、里親支援センターとして必要な業務について明記している。
<input checked="" type="checkbox"/> こどもや里親等への支援に当たっては、児童相談所と連携の上、連続性をもって提供されている		
7 児童相談所との協働関係		
里親支援センターは、児童相談所と適切な協働関係を構築しているか		
<input type="checkbox"/> 里親支援センターは、児童相談所と協働するために、それぞれの役割を明確化している	B	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めのケース共有や、新規ケースがあるごとの共有、また、毎月の里親支援者が集まったの会議など、児童相談所との定期的な連絡会議が実施されている。 ・里親家庭が多数参加するイベントなどには、必ず児童相談所へも案内を出し、連携して実施できるよう、努めている。 ・一方で、それぞれの役割を明記したものはないため、不十分である。
<input checked="" type="checkbox"/> 里親支援センターの職員は、児童相談所との協働への意欲を持ち、それぞれの役割を理解した上で業務に取り組んでいる		

<input checked="" type="checkbox"/> 里親支援センターの職員は、児童相談所の職員との信頼関係の構築に努め、互いに成長し、貢献し合えるという認識の下、協働関係を保っている		
8 協働のプロセス		
里親支援センターは、児童相談所と協働関係を構築するために必要な取組を行っているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ No. 7と同様、年度初めのケース共有や、新規ケースがあるごとの共有、また、毎月の里親支援者が集まったの会議など、児童相談所との定期的な連絡会議を実施している。 ・ 里親家庭が多数参加するイベントなどには、必ず児童相談所へも案内を出し、連携して実施できるよう、努めている。 ・ 一方で、それぞれの目的を明記したものはないため、不十分である。
<input checked="" type="checkbox"/> 児童相談所と継続的にコミュニケーションを取り、意思疎通を図っている		
<input type="checkbox"/> 里親支援センターと児童相談所の業務の目的を明確にし、それぞれの役割（具体的な成果目標を含む）について合意している		
<input checked="" type="checkbox"/> こどもや里親等への支援ニーズを分析し、児童相談所等の関係機関と協議して計画を立てている		
<input type="checkbox"/> 里親支援センターは、児童相談所との協働関係を構築・発展させるためのプロセスを確立し、継続的に見直している		
<input checked="" type="checkbox"/> 協働関係を構築するに当たって、児童相談所との情報共有に関するルールを定め、正確な情報を共有している		
9 協働の資源		
里親支援センターは、児童相談所と協働するための資源（体制、職員数等）を適切に確保しているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ No. 7と同様、年度初めのケース共有や、新規ケースがあるごとの共有、また、毎月の里親支援者が集まったの会議など、児童相談所との定期的な連絡会議を実施している。 ・ 一方で、協働関係を構築するために必要となる計画は未整備である。
<input checked="" type="checkbox"/> 里親支援センターが児童相談所と協働関係を構築する上で必要となる体制や職員配置となっている		
<input type="checkbox"/> 児童相談所との協働関係を構築するために必要な資源の確保や必要な計画が策定できている		

10 児童相談所による措置決定への関わり		
里親支援センターは、児童相談所がより適切な措置決定をするために、協働者として適切な情報提供や提案などができているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・No. 7と同様、年度初めのケース共有や、新規ケースがあるごとの共有、また、毎月の里親支援者が集まったの会議など、児童相談所との定期的な連絡会議を実施している。 ・一方で、アセスメントシートの使用には至っておらず、不十分である。
<input checked="" type="checkbox"/> 児童相談所の措置決定や援助方針の決定等に際して、里親支援センターとして適切な情報提供や方針に対する提案をできる関係性となっている		
<input checked="" type="checkbox"/> 里親支援センターは、児童相談所が包括的にアセスメント等を行うことができるよう必要な情報提供をしている		
<input type="checkbox"/> 里親支援センターは、適切な情報提供を行うことや提案をするために共通のアセスメントシートを活用するなど、適切に行っている		
III 里親支援センターの業務の効果的な実施		
i 里親制度等普及促進・里親等のリクルート及びアセスメント		
11 里親制度等普及促進		
里親制度等の普及促進について、これまでの取組を検証し、里親制度等の普及促進の向上に努めているか	A	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年里親月間（10月）を中心に、県内各市町村の広報誌への掲載依頼を実施し、各児童福祉課、社会福祉協議会、教育委員会や諸団体にポスター並びにチラシの配布を行っている。また、行政機関や公共交通機関のデジタルサイネージ広告の実施、インスタグラムの投稿を適宜実施し、広く一般の方に興味関心を持ってもらえるよう取り組んでいる。 ・毎月里親制度説明会を対面とオンラインに分けて実施している。また、民生児童委員や宗教団体等向けの出前講座も実施している。
<input checked="" type="checkbox"/> 広く一般の方が里親等に関する情報に触れる機会を数多くつくり里親制度等に関心を持つきっかけを作っている		
<input checked="" type="checkbox"/> 里親制度等の普及啓発に当たり、効果的な取組例を参考にする等、積極的に取組を行っている		
12 里親等リクルートのための現状分析と戦略立案		
里親等リクルートの課題などについて分析を行い、戦略的・効果的なアプローチを実行しているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・里親制度説明会のアンケートを実施し、広報誌やSNSからの来談につながるが多いことから、広報誌やSNSを中心に広報を実施している。 ・福祉に関心を持っていただける層を設定し、積極的に発信を行っている。
<input type="checkbox"/> 里親希望者等の傾向や里親等を希望する理由等の現状分析を行い、有用な取組を検討している		

<input checked="" type="checkbox"/> これまでの里親希望者等の傾向や里親等を希望する理由等、得られた情報をもとに、里親等をリクルートするための現状分析を行っている		<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ上に里親体験談をアップし、より身近に感じてもらえるよう工夫している。 ・一方で、現状分析は十分にできておらず、アンケートやHPのビジター数等に基づく分析が必要である。
<input checked="" type="checkbox"/> ターゲットの特徴に合わせた戦略的・効果的なアプローチを実行している		
13 里親等リクルートのための効果的な情報発信		
問い合わせ件数や研修参加者数、登録件数などの目標を立て、効果的な情報発信と見直しを行っているか		<ul style="list-style-type: none"> ・No.11及び12と同様に、広報には取り組んでいる。
<input type="checkbox"/> 問い合わせ件数や研修参加者数、登録件数などの具体的な目標を立て、取組の効果を測定している	B	<ul style="list-style-type: none"> ・一方で、問合せ件数や研修参加者数、登録件数については、具体的な目標数値を立てていないため、不十分である。
<input checked="" type="checkbox"/> 効果的な情報発信の手法について検討を行い、実践している		
14 問い合わせへの対応とガイダンス		
問い合わせに迅速に対応し、里親制度等の意義やサポート体制などを丁寧にガイダンスしているか		
<input checked="" type="checkbox"/> 気軽に問い合わせできるような工夫をしている	B	<ul style="list-style-type: none"> ・里親登録希望者が連絡しやすいように、ホームページに問い合わせフォームを作るとともに、インスタグラムや公式LINEアカウントを活用し、情報発信に努めている。
<input checked="" type="checkbox"/> 関心を持っていただいた方からの問い合わせに迅速に対応している		<ul style="list-style-type: none"> ・開所時間も、児童相談所より遅い時間までの受付時間とし、土曜日も開所している。
<input checked="" type="checkbox"/> 里親等への経済的なサポートや支援体制など、不安や負担感を軽減できるような説明をしている		<ul style="list-style-type: none"> ・説明内容には、支援体制やこどもの特性にも触れている。
<input checked="" type="checkbox"/> こどものニーズや行動特性等について、里親等の役割などを丁寧にガイダンスしている		<ul style="list-style-type: none"> ・一方で、実子がいる家庭に合わせて不安を解消する工夫ができていないかを示すことのできるものが無く、不十分である。
<input type="checkbox"/> 実子がいる家庭に対しては、実子の関係についてなど、家庭に合わせ不安を解消する工夫をしている		
15 里親希望者等のアセスメント		
里親希望者等に対して面接・研修や訪問調査を行い、適性を丁寧にアセスメントしているか	C	<ul style="list-style-type: none"> ・児童相談所との役割分担の上で、児童相談所が初回面接を実施し、当センターが里親制度の説明を担っている

<input type="checkbox"/> 里親等を希望する理由を丁寧に確認し、里親等になる動機を正確に把握している <input checked="" type="checkbox"/> 実習先での里親希望者等の評価（強みや弱み）を確認し、アセスメントに活かしている <input type="checkbox"/> アセスメントに当たり、家庭訪問調査を必ず行い居住環境や近隣の環境の把握と、同居家族の意向等を確認している <input type="checkbox"/> アセスメントのための面接や家庭訪問は、可能な限り複数の職員で行い、アセスメント結果について児童相談所に共有している <input type="checkbox"/> 里親等としての適性は、こどもの委託をイメージした上で確認し、児童相談所と理解を共有している <input type="checkbox"/> 里親等としての適性が不十分な場合には、里親希望者等に結果をフィードバックし、今後の対応を伝えている		<p>る。説明会に来られた際の希望者の様子については、必要に応じて、児童相談所に報告している。</p> <p>・一方で、当センターとして十分なアセスメントを実施しているわけではなく、Cという判断に至った。</p>
ii 里親等に対する研修		
16 登録前、登録後及び委託後における里親等に対する研修		
里親支援センターは、法定研修である登録前研修・基礎研修・更新研修のみならず、必要に応じて子どもや里親等のニーズに沿った研修を実施することにより、里親等のスキルアップを目指すとともに、アセスメントの機会として活用しているか	B	<p>・子ども家庭庁による「養育里親研修の適切な実施について（こ支家第525号）」に基づき、研修内容を設定し、実施している。また、これに加え、養子縁組里親希望の方向けに、特別養子縁組制度や真実告知についても触れた内容となっている。</p> <p>・一方で、当センターによる面接は実施しておらず、アセスメントの機会としては十分に活用できていない。</p>
<input checked="" type="checkbox"/> 法定研修の全てにおいて、演習を組み入れ、気づき及び疑問等について里親間で話し合い、理解を深めるようにしている		
<input checked="" type="checkbox"/> 研修では、里親等の役割をこどもの視点で捉え、実親との協働がこどもの健やかな成長に寄与することを伝えている		

<input checked="" type="checkbox"/> 研修内容は、必要なスキルや知識を得るために十分な内容であり、適時改善を図っている		
<input type="checkbox"/> 登録前研修後は、習得した内容や反省点について面接等と言語化し、里親制度への理解を確認している		
<input type="checkbox"/> 里親登録後の研修では、里親等のスキルアップを目指すとともに、アセスメントの機会としても活用し、里親等の強みや課題を捉えている		
<input checked="" type="checkbox"/> こどもや里親等のニーズに沿った実践的な研修を実施している		
iii 未委託里親への取組		
17 未委託里親への取組		
未委託里親への取組の実施や家庭状況の確認をしているか	A	<ul style="list-style-type: none"> ・里親認定式を令和7年度から実施し、登録して間もない里親家庭と関われる機会を設けている。また、児童相談所と連携し、未委託里親への訪問や現況調査の実施を行っている。 ・未委託里親を対象としたトレーニング講座を実施し、委託後の生活を想定した講義や、実際に里親家庭で生活している子どもとのふれあい体験を、年に1回ずつ実施している。
<input checked="" type="checkbox"/> 未委託里親の家庭状況や受託の意向を定期的にあセスメントし、マッチングに活かしている		
<input checked="" type="checkbox"/> 未委託里親に対するトレーニングや研修等を実施し、養育力の向上を図っている		
<input checked="" type="checkbox"/> 未委託里親の養育に対するモチベーションの維持や理解を深めている		
iv こどもと里親等のマッチング		
18 委託前交流		
こどもと里親等の関係づくりを段階的に行い、こどもが安心して生活できるようにしているか	C	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと里親等の関係づくりについて、児童相談所に主な役割があり、当センターとしては、その補完的な役割にとどまっているため、Cとした。 ・一方で、児童相談所による関係づくりが実施できるよう、交流中の会場提供や、里親からの相談への対応、児童相談所との情報共有は実施している。
<input type="checkbox"/> 里親等に対し、こどもに関する情報や養育上の留意点を十分に説明している		
<input type="checkbox"/> 里親と同居家族の受け止めと意向を丁寧に確認し、不安がある場合の整理や地域資源の調整をしている		
<input type="checkbox"/> こどもと里親等の関係づくりは、段階的に行われている		

<input checked="" type="checkbox"/> 交流中のこどもと里親家庭の様子、関係性の変化等を把握している		
<input checked="" type="checkbox"/> こどもの気持ちを大切にし、安心して里親家庭で生活できるよう必要に応じた支援を行っている		
19 マッチングの検討		
こどもと里親等に対するアセスメントを踏まえ、こどもにとって最も望ましい里親等を選定し、マッチングを検討しているか		
<input checked="" type="checkbox"/> 里親支援センターは、リクルートから研修までに把握した里親等に関する情報を児童相談所に十分に提供している		
<input type="checkbox"/> マッチングは里親委託の成否を左右する極めて重要な要素であることから、こども、実親、里親等に対して十分な情報提供を行うとともに、こども・里親等の熟慮期間を確保しながら関係機関等に対して情報を共有している。	C	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと里親等のマッチングについて、児童相談所に主な役割があり、当センターとしては、その補完的な役割にとどまっているため、Cとした。 ・一方で、児童相談所によるマッチングがスムーズに実施できるよう、毎月の会議や個別の会議において、児童相談所との情報共有は実施できている。
<input type="checkbox"/> 委託のための調整期間は、できるだけ長期にならないように努め、長い場合でも2、3ヶ月程度を目安としている		
<input type="checkbox"/> こどもと里親等の状況を踏まえたチーム養育体制の支援計画等を踏まえてマッチングしている		
v こどもの基本的な生活		
20 自立支援計画		
こどもの養育計画（「自立支援計画」という。以下同じ。）等は、こどもや実親、里親等の意向が十分に尊重されたものとなっており、必要に応じて適切に見直しが行われ、こどもや里親等がその内容を理解しているか	C	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援計画の策定について、児童相談所に主な役割があり、当センターとしては、その補完的な役割にとどまっているため、Cとした。

<input checked="" type="checkbox"/> こども、実親、里親等の意向が十分に尊重された自立支援計画となっており、計画については、こどもや実親、里親等が理解している	<p>・一方で、児童相談所による自立支援計画の策定に必要な情報については、毎月の会議において、情報共有ができています。</p>	
<input type="checkbox"/> 自立支援計画は、可能な限りこどもと実親の参加の下、里親支援センター等及び担当児童福祉司、里親等とともに作成・共有している		
<input type="checkbox"/> 自立支援計画の進捗を把握し、達成状況などから定期的（3～4か月に1回程度）に見直しをしている		
21 委託中及び委託解除後のこどもの自立支援		
<p>将来の目標に向けて、委託中及び委託解除後のこどもに対して自立に向けた支援を行っているか</p>	<p>・自立時期が近づくケースについては、自立支援を主に担当する職員より、奨学金の情報などを提供している。</p> <p>・また、高校3年生を対象とした「自立生活支援研修会」を令和7年度より実施しており、対象児童が社会生活をより具体的にイメージできるよう、支援している。</p> <p>・委託解除後も、サロン活動や訪問を通して、こどもの状況把握につとめている。</p>	
<input checked="" type="checkbox"/> 委託解除前からこどもの将来を見据えた自立支援計画となっており、自立に向けた適切な相談支援が行われている		<p>A</p>
<input type="checkbox"/> 委託解除後のこどもの継続的な状況把握を実施している		
<input checked="" type="checkbox"/> 委託解除後の支援では、委託されていた里親や社会的養護自立支援拠点事業所等の適切な関係機関につないでいる		
IV チーム養育の充実		
i 里親等と里親支援センターの関係性及びチーム養育		
22 里親等と里親支援センターの関係性		
<p>里親等と里親支援センターは十分なコミュニケーションを図り、信頼関係が築かれているか</p>	<p>・里親に向けた当センターからの情報発信は、郵送やホームページといった方法で実施できている。</p> <p>・毎月1回、サロン活動を実施するとともに、奈良県里親会と連携し、季節に合わせた特別なサロン活動も実施できている。</p> <p>・年度初めに、当センターの利用を促す書類を送付している。</p>	
<input checked="" type="checkbox"/> 里親等と里親支援センターは十分なコミュニケーションが図られている		<p>B</p>
<input checked="" type="checkbox"/> 里親等と里親支援センターは双方向の信頼関係を構築している		

<input checked="" type="checkbox"/> 里親支援センターは、里親等が日常的に相談しやすい環境を整備している	<p>・また、里親アンケートや現況調査など、里親からの意見を聞く取り組みは実施できている。</p>
<input checked="" type="checkbox"/> 里親等が養育上の課題や難しさを感じた場合には、早い段階で里親支援センターに相談するように働きかけている	
23 チーム養育と支援ネットワーク	
里親等と里親支援センター、児童相談所は、チーム養育の意識を持ち、こどもに重層的な支援を行っているか	<p style="text-align: center;">B</p> <p>・里親基礎研修及び里親登録前研修において、里親養育はチーム養育である旨の説明を行っている。</p> <p>・また、児童相談所と連携し、委託直後のカンファレンスに里親家庭にも同伴してもらうなど、里親家庭との協働関係が築けるよう、取り組んでいる。</p> <p>・自立を控えた児童向けの奨学金情報や、療育を必要とする児童向けの福祉サービスの紹介など、社会資源の利用についても必要に応じて里親家庭と共有できている。</p> <p>・一方で、里親家庭が責任や負担を感じてしまう場面は多く、また、チーム養育であるという点について、里親家庭に十分に伝わっているかどうかについて、客観的に示すことのできる書類が無く、不十分である。</p>
<input checked="" type="checkbox"/> 里親等と里親支援センターは、チーム養育を協働して行うという意識を持っている	
<input checked="" type="checkbox"/> 養育チームは、ミーティングなどを通じて密に連携し、信頼関係を構築している	
<input checked="" type="checkbox"/> 里親等と里親支援センターは、養育で必要となる社会資源の利用について話し合っている	
<input checked="" type="checkbox"/> 里親支援センターは、こどものニーズに応じて、里親養育を理解し支援する「応援チーム」を構築するよう努めている	
ii 里親養育における支援の質	
24 里親養育のサポート	
里親支援センターは里親養育のサポートを適切に行っているか	<p style="text-align: center;">B</p> <p>・委託直後の家庭については、1週間ごと、2週間ごとと、児童相談所と交互に訪問を実施できている。</p> <p>・当センターの利用案内を、毎年度実施できている。</p> <p>・心理士を配置し、里親家庭で生活する児童の中で、ニーズの高い児童に対し、心理療法を実施している。</p> <p>・実親との面会交流があった際は、児童に大きな揺れが生じることがあり、そういった場面に遭遇した里親についても、それが特殊なことではない旨を伝えている。</p>
<input checked="" type="checkbox"/> 家庭訪問や電話等を通じて、こどもの養育状況や里親家庭の状況を把握している <input checked="" type="checkbox"/> 里親等の疑問や悩み、意見や苦情、養育困難などの訴え、また里親等の求めに応じてこどもとも面接等を通して必要なガイダンスとサポートをしている	

<input checked="" type="checkbox"/> 定期的な家庭訪問の目的や内容・頻度等を明確にし、委託直後や養育が不安定になった場合などには頻度高く訪問している	<p>・一方で、実親との交流前後に、児童及び里親に対して十分な心理的サポートが実施できているかどうかについては、客観的に示すことのできる書類はなく、不十分と言える。</p>
<input checked="" type="checkbox"/> 被虐待経験や障害等、こどものニーズが高く専門的な対応が求められる支援へのサポートを行っている	
<input checked="" type="checkbox"/> こどもの暴力・不適応行動などの行動上の課題に対して、適切に対応できるようにサポートしている	
<input checked="" type="checkbox"/> 実親との面会交流時や措置解除前後は、子ども及び里親等への心理的サポートを行っている	
<p>25 里親養育に関するスーパービジョン</p>	
<p>より質の高い養育を実現するためのスーパービジョンが行われているか</p>	<p>・No.15、18～20と同様、児童相談所による役割が大きい点については実施できていない。</p> <p>・一方で、里親家庭への訪問の際の助言や、来所相談の実施、心理士からのフィードバック、里親研修における虐待予防の観点の講義内容など、スーパービジョンに資することのできる内容も多くあるため、Bとした。</p>
<input checked="" type="checkbox"/> 里親養育の様々な場面において、里親家庭の適切な対応を支持、承認し、日々の養育の営みを尊重している	
<input type="checkbox"/> 自立支援計画を、可能な限り子どもと実親の参加の下、里親支援センター及び担当児童福祉司、里親等とともに作成・共有し、進捗状況を把握している	
<input type="checkbox"/> 実親との面会交流や親子関係再構築支援について、可能な限り子どもと実親の参加の下、里親等及び担当児童福祉司と協議、調整の上、計画を作成している	
<input checked="" type="checkbox"/> 被措置児童等虐待の発生予防の視点を含めた、養育状況の確認とスキル向上に向けた助言や指導をしている	
<input checked="" type="checkbox"/> 里親等のニーズに添った事例検討や演習等を含む研修を実施している	

26 里親養育の状況に応じた支援のコーディネート		
<p>子どもや里親等が様々な社会資源を活用できるようにコーディネートし、その効果やニーズの充足を確認しているか</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・児童養護施設等のノウハウを活かし、研修に講師として招いたり、県内の様々な社会的養護関連団体の協力を得て、支援につなげている。 ・レスパイトケアについても、研修で利用の促進を促している。また、夏休みなどの長期休暇中には、小学生を対象とした終日の子ども行事を実施し、里親家庭に休息を取ってもらえるように取り組んでいる。 ・一方で、里親養育の支援体制を、それぞれの地域で構築できているとは言えず、市町村を会場とした制度説明会等は十分とは言えない。
<input type="checkbox"/> 子どもや里親等が地域で孤立しないように、里親養育を支援する体制を地域に構築している		
<input checked="" type="checkbox"/> レスパイト・ケアの利用を勧奨・調整している <input checked="" type="checkbox"/> 子どもや里親等と関係機関との間で摩擦や葛藤等が生じた場合には、関係調整等の必要な支援を行っている		
27 里親同士の関係構築支援		
<p>里親同士が横のつながりを構築できるようにサポートされているか</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・里親情報交換会「おしゃべり広場」を毎月開催している。 ・奈良県里親会と連携し、上記以外にも様々な季節の企画を実施している。例えば、キャンプ、バス旅行、ランチ会、新年会がそれにあたる。
<input checked="" type="checkbox"/> 里親同士が話し合いや情報交換できる機会等を定期的に設けている		
<input checked="" type="checkbox"/> 里親同士が相互交流に参加しやすいように工夫している <input checked="" type="checkbox"/> その他里親同士の関係構築が促進される取組を行っている		
28 子どもと実親との面会交流		
<p>子どもと実親との面会交流については、子どもと里親等に対して丁寧に説明し、可能な限り子どもの意見を尊重しているか</p>	C	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと実親との面会交流の説明について、児童相談所による役割が大きく、当センターとしては実施できていない。そのため、Cとした。 ・ただし、面会交流において、当センターを会場提供としての協力を実施したり、また、実親との面会交流のリスクが高いと判断したケースについては、その状況を児童相談所に伝え、リスク軽減に努めている。
<input type="checkbox"/> 子どもと実親との面会交流の具体的な方法や養育状況の報告、親子関係再構築支援に向けた計画については、可能な限り子どもと実親の参加の下、里親等及び担当児童福祉司と協議、調整の上、作成している <input type="checkbox"/> 家庭復帰のための短期集中的な交流の場合は、子どもと里親等への説明を丁寧に行い、それぞれの疑問や不安にその都度対応している		

<input type="checkbox"/> 定期的な面会交流の場合は、交流前後のこどもと里親等の状況を把握し、それぞれの心理的な安定が図られるよう適切な対応を行っている <input checked="" type="checkbox"/> 面会交流に制限が必要な場合やリスクが高いと判断した場合は、必要に応じて調整を行っている		
29 里親家庭での養育が不安定になった場合の対応		
里親家庭での養育が不安定になった場合は必要な対応をしているか	B	・家庭訪問や来所相談、電話やLINEによる相談の際に見聞きした内容については、すぐに児童相談所と共有し、児童相談所との連携の下、対処している。 ・一方で、ケースにより状況も様々であり、全てのケースをベストな状況で対応できているかと言えば、不十分である。
<input checked="" type="checkbox"/> 里親家庭での養育が不安定になった場合は、早急に状況を把握している <input checked="" type="checkbox"/> 問題の要因に応じて、児童相談所と情報を共有している <input checked="" type="checkbox"/> 迅速に対応方針を検討の上、適切に対応している		
30 被措置児童等虐待の防止と早期発見		
里親家庭でのこどもに対する被措置児童等虐待の防止と早期発見に取り組んでいるか	B	・里親研修では、被措置児童等虐待について、丁寧に説明するとともに、子どもとのかかわり方についても説明している。 ・児童に対して、奈良県が発行する権利ノートを配布し、児童自身がSOSを出せるようつとめている。 ・一方で、実際に起きた際に、24時間365日、当センターとして十分な体制が整備できているかと言えば、十分ではない。
<input checked="" type="checkbox"/> 里親家庭に対して、被措置児童等虐待を具体的に例示し、被措置児童等虐待の防止に取り組んでいる <input checked="" type="checkbox"/> こどもが自分自身を守るための知識・方法を学習する機会を設け、こども自らが訴えることができるようにしている <input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待が疑われる事案が生じた場合に、迅速かつ適切な対応ができる体制が整備されている <input checked="" type="checkbox"/> 被措置児童等虐待の届出・通告があった場合には、届出者・通告者が不利益を受けることのない仕組みが整備・徹底されている		

31 里親等委託が不調となった場合の対応		
<p>里親等委託が不調となった場合は、こどもと里親等の双方から聴取を行い、それを踏まえた援助方針を検討する。それでも委託解除や措置変更となる場合には、委託解除や措置変更はこどもや里親等に与える影響を踏まえ適切な対応を行っているか</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ No.15、18～20、25 と同様、児童相談所による役割が大きい点については実施できていない。 ・ 一方で、不調になった際や、またそれによる措置変更、措置解除がもたらす子どもや里親への影響は非常に大きいものがあり、不調後の訪問や来所相談など、里親家庭の状況に応じて実施している。
<p><input type="checkbox"/> 里親支援センターは、里親等委託が不調となった場合にこどもや里親等から聴取を行い、十分なアセスメントをしている</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 里親等委託が不調となった場合は、次の養育の場への移行を丁寧に支援し、こどもや里親等の心理的ダメージに留意し、具体的なケアをしている</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 里親家庭と時機をみて、時間をかけて振り返り、整理することによって、養育チーム全体として受け止められるようにしている</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 委託解除や措置変更となる場合には、委託解除や措置変更がこどもや里親等に与える影響について不調となった要因も踏まえながら検証し適切な対応を行っているか</p>		
32 委託解除前後における里親等の感情の問題や委託解除後の喪失感への配慮		
<p>委託解除前後における里親等の感情の問題や、委託解除後の喪失感へのサポートを行うとともに、委託解除後のこどもと里親等がどのような関わりをもつのが良いのかアセスメントし、サポートしているか</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委託解除後の里親家庭にも訪問を実施し、里親の心情に寄り添った相談対応を行っている。また、里親に対してどのようなサポートを行ったかについては、適宜児童相談所と共有できている。 ・ 一方で、研修において委託解除前後の里親の心情に触れる内容が、十分にできているわけではない。
<p><input checked="" type="checkbox"/> 委託解除前後の里親自身の感情の問題や受けられるサポートについて、研修の場等で予め触れている</p>		

<input checked="" type="checkbox"/> 委託解除後の里親等の喪失感について、こどもとの別離に対する様々な感情が言語化されることに対し、里親支援センター等の職員に対して言語化されることに対し、その感情が当然であることとしてサポートしている <input type="checkbox"/> 委託解除後のこどもと里親等の関係について、実親が里親等に信頼感を十分持っている前提で、こどもの今後の生活にとって、こどもと里親等がどのような関わりをもつのが良いのかアセスメントし、サポートしている		
---	--	--

33 児童相談所の苦情受付の窓口

里親支援センターは児童相談所の苦情受付の窓口を周知し、苦情解決の仕組みが機能するか確認しているか	C	・児童相談所の苦情受付窓口について、里親やこどもに対して周知できておらず、Cとした。
<input type="checkbox"/> 児童相談所の苦情受付の窓口をこどもや里親等に定期的に周知している <input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みが機能するか確認している <input type="checkbox"/> こどもや里親等が利用しやすい受付方法になっているか確認し必要に応じて児童相談所に改善を求めている		

V 里親養育のもとで育つこどもの経験

i こどもの権利擁護と最善の利益の優先

34 こどもの権利についての理解促進

こどもの権利について、こどもに分かりやすく説明した上で支援が行われているか	B	・里親研修において、子どもの権利擁護についてふれており、里親が子どもの権利を意識して養育できるようにつとめている。 ・一方で、権利ノートの説明について、奈良県では児童相談所の職員が初めに実施するものであり、当センターとしては実施できていない。また、子どもへの説明についても、十分にできていることを示す書類が無い。
<input type="checkbox"/> 児童相談所から配布されたこどもの権利ノートをもとに、こどもの権利について分かりやすく説明している		
<input checked="" type="checkbox"/> 里親等がこどもの権利を理解し、日常生活の中でこどもの権利をサポートできるように支援している		

<input checked="" type="checkbox"/> 里親支援センターは、里親等とともにこどもの年齢や発達に応じた自立支援計画を踏まえ、こどもの理解を促進するため、説明方法を工夫している		
35 こどもへの説明と意見聴取		
支援の過程において、こどもが理解できるような説明と意見聴取が適切に行われているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもへの面接を実施する場面、特に心理療法の実施などにおいては、子どもへその目的を伝えるとともに、防音機能のある部屋を使用する等、子どもが自由に発言できる、話しやすい環境を設定している。 ・子どもや里親の状況把握は、児童相談所との情報共有の上で実施できている。 ・また、里親支援センター職員を対象とした様々な研修に参加し、職員の専門性向上につとめている。 ・一方で、援助方針の子どもへの説明については、児童相談所によるところが大きく、当センターとしては実施できていない。
<input type="checkbox"/> 援助方針や支援の見通しについて、こどもに分かりやすく説明している		
<input type="checkbox"/> 定期的にこどもの意見（意向・気持ち）を把握し、それらが支援内容等に反映されている		
<input checked="" type="checkbox"/> こどもに対して面接等を実施する場合には、その目的を明らかにし、こどもが話しやすい環境で意見を聴いている		
<input checked="" type="checkbox"/> こどもの権利擁護と最善の利益を優先する視点に立ち、こどもや里親等の状況を詳細に把握している		
<input checked="" type="checkbox"/> 支援の過程において、こどもの権利擁護やこどもの意見を聴くことに関する高度の専門性やバランス感覚を養うための職員向けの研修等を実施している		
36 こどもの意見表明支援		
こどもの権利を擁護するために、こどもの意見形成や意見・意向表明に対して支援が行われているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・里親向けに、こどもアドボケイトに関する説明会を実施し、こどもが日常生活において意見表明がしやすいよう、つとめている。 ・一方で、子どもを対象とした説明会については、実施できていない。
<input checked="" type="checkbox"/> 里親支援センターは、日々の支援の中において、こどもが日常生活の中でこどもが意見形成や意見・意向表明しやすい環境を整備するとともに、こどもや里親等に対して支援している		

	<input type="checkbox"/> こどもが意見表明等支援事業を利用しやすい環境を整備するとともに、事業の趣旨等をこどもに分かりやすく説明した上で支援を行っている		
	<input type="checkbox"/> こどもが意見表明等支援事業を利用したケースがある場合には、利用するまでのプロセスが適切になされているか		
37 こどもの生い立ちの振り返りと記録の管理			
	こどもの年齢や発達又は意向に応じて、こども自身の生い立ちを振り返る取組を行うとともに、記録の管理は適切に行っているか	<p style="text-align: center;">B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりの生い立ちを振り返ることのできる記録については、児童相談所で厳格に管理されている。 ・生い立ちの整理が必要と考えられるケースについては、適宜、児童相談所に相談ができており、また、当センターとしても、奈良県内のライフストーリーワークの勉強会に出席し、必要な支援について学んでいる。 ・一方で、生い立ちを振り返るための計画は立てることができていない。
	<input checked="" type="checkbox"/> こども自身が生い立ちを振り返ることができるよう、こども一人ひとりの記録の管理が厳格に実施されている		
	<input type="checkbox"/> こどもの年齢や発達又は意向に応じて、こども自身の生い立ちや、生い立ちを振り返るための計画を立てている		
	<input checked="" type="checkbox"/> 生い立ちを振り返る際には、里親支援センターはその伝え方や内容について、里親や他の支援機関等と協議した上で共有している		
38 こどもの権利侵害の防止			
	こどもへの権利侵害の予防や、早期発見のための取組に加え、こどもへの不適切な養育に対する予防や対策が適切に行われているか	<p style="text-align: center;">B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・里親研修において、子どもへの不適切な養育になりうる事象を説明している。 ・家庭訪問や電話など、里親が養育に関する相談がしやすいようにつとめている。 ・子どもの権利ノートが配布されており、意見表明について分かりやすく説明がなされている。 ・一方で、スーパーバイズ体制について、十分に説明できる資料がないため、Bとした。
	<input checked="" type="checkbox"/> 里親等への研修において、こどものニーズ把握とその対応等の研修を実施し、不適切な養育になる前に助言等のスーパーバイズを行っている		
	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭訪問や電話等による支援を通じて、養育について相談しやすい体制を構築している		

	<input checked="" type="checkbox"/> こどもが権利侵害にあった場合の届出の仕組みをこどもに分かりやすく説明している		
ii こどもの基本的な生活			
39 こどものウェルビーイング			
<p>こどもは、日常の中で健やかな成長・発達が図られるような生活を送れるよう、里親支援センターとして里親等に対して支援を行っているか</p>		A	<p>・記載の内容について、里親研修でふれており、また、定期的な家庭訪問において、必要な助言支援が実施できている。</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> こどもが心身ともに健康的な生活ができ、健やかな成長・発達が図られ、里親等が日常的に適切な養育を行うよう必要に応じて助言支援を行っている。		
	<input checked="" type="checkbox"/> こどもが基本的な生活習慣を身につけられるよう、里親等と協働して支援を行っている		
	<input checked="" type="checkbox"/> 最低限必要な家庭の決まり事は、こどもに意見を聞いた上で、合意のもと決定するよう、里親等に対して助言等を行っている		
	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの年齢や発達又は意向に応じて、必要な学習環境の整備や文化芸術活動等の必要な体験が得られるよう、こどもの求めに応じて里親等が対応できるよう助言等により支援を行っている		
40 性に関する教育			
<p>こどもが性による被害者又は加害者にならないよう、里親等がこどもの年齢や発達に応じて性についての正しい知識を教育することや、こどもの疑問や不安に対応できるよう支援を行っているか</p>		A	<p>・里親研修において、多様性に関する項目があり、先入観による性役割の押し付けがなされないよう、説明ができています。</p> <p>・また、家庭において性教育ができるよう、説明に使用できる資料の紹介を行っている。</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 里親等が性に関することをタブー視せず、こどもの疑問や不安に応えられるように、研修や助言等により支援している		

<input checked="" type="checkbox"/> こどもの年齢・発達の状況に応じて、里親等がこどもの性に関する正しい知識を教育するための研修や助言等を行っている		
41 非常時・災害時の安全確保		
非常時・災害時に備えて、こどもや里親等の安全が確保されているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・当センターにおいて、非常災害時の備品を確保するとともに、毎月、避難誘導を含む防災訓練を実施している。 ・また、非常時における業務の継続のためのBCPを策定している。 ・一方で、子どもと里親間の取り決めを確認できているわけではない。また、具体的な災害を想定した助言を各里親家庭にできているわけではなく、不十分と言える。
<input type="checkbox"/> 非常時・災害時における連絡方法、安全確保や避難場所等について、予めこどもと里親等の間で取り決めが行われているか確認し、必要に応じて助言等を行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 里親支援センターにおいて、軽便消火器等の消火用具、非常口その他非常災害に必要な設備を設けるとともに、非常災害に対する具体的計画を立て、これに対する不断の注意と訓練に努めているか		
42 こどもへの関わりと関係性		
里親家庭や里親支援センターによるこどもへの関わりと、それぞれの関係性が適切に保たれ、相談先等について周知を行う等の相談体制が構築されているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・里親家庭で暮らす全ての子どもを支援対象とし、業務にあたっている。 ・当センター職員による子どもへの関りについては適切と考えるが、客観的に示すことのできる書類が無く、不十分である。 ・子ども自身の相談先についての書類は整備できていない。
<input type="checkbox"/> 実子を含む里親家庭のすべてのこどもにとって、里親家庭におけるこどもへの関わりと、それぞれの関係性が適切である		
<input checked="" type="checkbox"/> 里親支援センターの職員による実子を含む里親家庭のすべてのこどもへの関わりとそれぞれの関係性は適切である		
<input type="checkbox"/> こども自身が悩みを抱えた時の相談先をわかるようにしている		
<input checked="" type="checkbox"/> 実子を含む里親家庭のすべてのこどもが里親支援センターに相談できる機会を作っている		

43 里親家庭で育つ子ども同士の関係構築支援		
里親家庭で育つ子ども同士の関係が築けるよう、適切に支援を行っているか	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士が交流できる機会を設けており、実施できている。
<input checked="" type="checkbox"/> 里親支援センターは、子ども同士が遊び等を通じて相互交流できる機会等を里親等が設けているか定期的に確認し、必要に応じて支援を行っている		